

**目標3 みどり豊かな環境にやさしいまち**

**施策8 水とみどりのネットワークの形成**

**1 憩いの水辺創出**

老朽化した区内河川施設の適切な管理により、区民が安心して暮らせる河川環境を確保するとともに、善福寺川の水鳥に着目しつつ、区内3河川において区民と共に多様な動植物が生息・生育・繁殖できる水辺環境の再生・創出に取り組みます。

	30年度末(見込)	31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	河川施設(護岸等)の適切な維持管理 詳細調査 設計 補修	河川施設(護岸等)の適切な管理 調査 補修	河川施設(護岸等)の適切な管理 調査	河川施設(護岸等)の適切な管理 調査	河川施設(護岸等)の適切な管理 調査 補修
	善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出 行動方針の啓発・取組推進	善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出 行動方針の啓発・取組推進	善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出 行動方針の啓発・取組推進	善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出 行動方針の啓発・取組推進	善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出 行動方針の啓発・取組推進
	経費(百万円)	1	1	1	3



遅野井川親水施設

## 2 みどりの保全

重点

杉並らしい歴史風土を今に伝える屋敷林<sup>※1</sup>や農地等の貴重なみどりを区民共有の資産として後世に引き継ぐため、保護指定制度の充実、市民緑地の設置を進めるとともに、緑地保全モデル地区での取組を踏まえ、みどりの支援隊の拡充を図るなど杉並らしいみどりの保全地区<sup>※2</sup>での屋敷林や農地の保全に継続的に取り組めます。また、今では区内で見かけることが少なくなった貴重な植物等の生息場所の保全に努めます。

	30年度末(見込)	31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	保護指定制度の充実 保護樹木 1,600本 保護樹林 41ha 保護生けがき 6,100m 貴重木 100本 特別樹林 候補地の選定・調整	保護指定制度の充実 保護樹木 《1,750本》 保護樹林 《45ha》 保護生けがき 《6,900m》 貴重木 《100本》 特別樹林 候補地の選定・調整	保護指定制度の充実 保護樹木 《1,750本》 保護樹林 《45ha》 保護生けがき 《6,900m》 貴重木 《100本》 特別樹林 候補地の選定・調整	保護指定制度の充実 保護樹木 《1,750本》 保護樹林 《45ha》 保護生けがき 《6,900m》 貴重木 《100本》 特別樹林 候補地の選定・調整	保護指定制度の充実 保護樹木 《1,750本》 保護樹林 《45ha》 保護生けがき 《6,900m》 貴重木 《100本》 特別樹林 候補地の選定・調整
	市民緑地 <sup>※3</sup> の設置 候補地の選定・調整	市民緑地の設置 候補地の選定・調整	市民緑地の設置 候補地の選定・調整	市民緑地の設置 候補地の選定・調整	市民緑地の設置 候補地の選定・調整
	屋敷林・農地の保全 保全地区での取組 実施 屋敷林所有者連絡 会開催 2回	屋敷林・農地の保全 保全地区での取組 実施 屋敷林所有者連絡 会開催 2回	屋敷林・農地の保全 保全地区での取組 実施 屋敷林所有者連絡 会開催 2回	屋敷林・農地の保全 保全地区での取組 実施 屋敷林所有者連絡 会開催 2回	屋敷林・農地の保全 保全地区での取組 実施 屋敷林所有者連絡 会開催 6回
	生き物生息場所の保全 3所	生き物生息場所の保全 《3所》	生き物生息場所の保全 《3所》	生き物生息場所の保全 《3所》	生き物生息場所の保全 《3所》
	経費(百万円)	37	37	37	111

※1 屋敷林…戸建て住宅と一体となった敷地内にある概ね高さ3メートル以上の樹木(自然仕立て)が30本以上ある樹林

※2 杉並らしいみどりの保全地区…平成24年度、後世にのこしたい杉並の屋敷林として表彰した「みどりの顕彰表彰屋敷林」を中心に、杉並の原風景が残る屋敷林や農地が一堂として残る場所を含む地区

※3 市民緑地…300㎡以上の屋敷林等を所有者と区が無償借地契約をして区民に公開し、都市の貴重なみどりを保全する制度

### 3 みどりの創出

みどりのベルトづくり事業\*は、「推進地区」において、講座の開催や地域住民との協働による事業展開を図ります。また、ヒートアイランドの緩和や省エネ効果についての周知を図り、建物の屋上や壁面などの緑化、震災時に危険性が指摘されているブロック塀・万年塀の生けがき化等により、新たなみどりを創出し、みどりのネットワークの形成を進めます。

30年度末(見込)		31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	みどりのベルトづくりの推進 推進地区での取組 地元推進組織支援	みどりのベルトづくりの推進 推進地区での取組 地元推進組織支援	みどりのベルトづくりの推進 推進地区での取組 地元推進組織支援	みどりのベルトづくりの推進 推進地区での取組 地元推進組織支援	みどりのベルトづくりの推進 推進地区での取組 地元推進組織支援
	民有地の緑化推進 屋上緑化助成 154㎡ 壁面緑化助成 39㎡ 接道部緑化助成 350m	民有地の緑化推進 屋上緑化助成 250㎡ 壁面緑化助成 40㎡ 接道部緑化助成 350m	民有地の緑化推進 屋上緑化助成 250㎡ 壁面緑化助成 40㎡ 接道部緑化助成 350m	民有地の緑化推進 屋上緑化助成 250㎡ 壁面緑化助成 40㎡ 接道部緑化助成 350m	民有地の緑化推進 屋上緑化助成 750㎡ 壁面緑化助成 120㎡ 接道部緑化助成 1,050m
	区立施設の緑化推進	区立施設の緑化推進	区立施設の緑化推進	区立施設の緑化推進	区立施設の緑化推進
	経費(百万円)	10	10	10	30

※ みどりのベルトづくり事業…区民・事業者がつくる身近なみどりを連続させ、ベルトのようにつなげていく取組

### 4 みどりの育成

区民・事業者の緑化意識の高揚を図るため、みどりに関する情報発信、イベント・講座の開催などにより、みどりの創出・保全等の大切さを周知していきます。また、みどりの基金\*1を運用し、みどりの保全や(仮称)荻外荘公園の復原・整備など区を代表する公園等の整備に活用します。

30年度末(見込)		31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	みどりの普及啓発 新聞発行 2回 講座の開催 2回 イベント開催 2回 みどりの相談所 運営	みどりの普及啓発 新聞発行 2回 講座の開催 2回 イベント開催 2回 みどりの相談所 運営	みどりの普及啓発 新聞発行 2回 講座の開催 2回 イベント開催 2回 みどりの相談所 運営	みどりの普及啓発 新聞発行 2回 講座の開催 2回 イベント開催 2回 みどりの相談所 運営	みどりの普及啓発 新聞発行 6回 講座の開催 6回 イベント開催 6回 みどりの相談所 運営
	みどりの基金 積立・運用	みどりの基金 積立・運用	みどりの基金 積立・運用	みどりの基金 積立・運用	みどりの基金 積立・運用
	みどりの顕彰*2 見直し検討	—	—	—	—
経費(百万円)		5	5	5	15

※1 みどりの基金…区内の樹木・樹林の保全や、区を代表する公園等の整備などに活用するため、区民や企業から寄附金などにより設置した基金

※2 みどりの顕彰…区民や事業者によるみどりの保全や緑化の実践的努力に対して顕彰する制度

## 5 みどりの協働推進

区民による、民有・公共のみどりや公園の維持活動を推進するため、活動にかかわる地域の団体に対して必要な資材などを供給し支援を行います。

30年度末(見込)		31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	みどりのボランティア 80人	みどりのボランティア 30人	みどりのボランティア 30人	みどりのボランティア 30人	みどりのボランティア 90人
	認定みどりのボラン ティア団体 11団体	認定みどりのボラン ティア団体 新規1団体 (累計12団体)	認定みどりのボラン ティア団体 新規1団体 (累計13団体)	認定みどりのボラン ティア団体 新規1団体 (累計14団体)	認定みどりのボラン ティア団体 新規3団体 (累計14団体)
	すぎなみ公園育て組 50団体	すぎなみ公園育て組 新規2団体 (累計52団体)	すぎなみ公園育て組 新規2団体 (累計54団体)	すぎなみ公園育て組 新規2団体 (累計56団体)	すぎなみ公園育て組 新規6団体 (累計56団体)
花咲かせ隊 138団体	花咲かせ隊 新規5団体 (累計143団体)	花咲かせ隊 新規5団体 (累計148団体)	花咲かせ隊 新規5団体 (累計153団体)	花咲かせ隊 新規15団体 (累計153団体)	
経費(百万円)		0	0	0	0

## 6 下高井戸おおぞら公園の整備

まちの防災機能を高めるとともに、豊かなみどりが育む憩いと健康増進につながる公園として、公園西側エリアを第1期として整備し開園しました。公園東側エリアについては、東京都が水害対策として地下式調節池※を整備するため、東京都と迅速かつ円滑な公園整備に向けた調整を行います。

30年度末(見込)		31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	第2期(東側エリア) 東京都との調整	第2期(東側エリア) 東京都との調整	第2期(東側エリア) 東京都との調整	第2期(東側エリア) 東京都との調整	第2期(東側エリア) 東京都との調整
経費(百万円)		0	0	0	0

※ 地下式調節池…台風や集中豪雨による水害を軽減するため、河川が増水した際に一時的に河川の水を貯留するための地下構造物

## 7 馬橋公園の整備 重点

区立馬橋公園に隣接する廃止された国家公務員宿舍の用地を公園の拡張用地として取得し、防災機能を高めることにより地域の防災性の向上を図るとともに、より多くの方に利用される公園となるよう整備します。

30年度末(見込)		31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	公園の拡張 用地調整	公園の拡張 基本計画	公園の拡張 基本計画	公園の拡張 設計	公園の拡張 基本計画 設計
	経費(百万円)	212	6	20	238

## 8 都市計画高井戸公園の整備促進

東京都が行う都市計画高井戸公園の整備により、区民のスポーツ・レクリエーションの場や防災拠点の確保を図るとともに、東京都と緊密な連携のもとに周辺まちづくりを促進します。

30年度末(見込)		31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	都市計画高井戸公園 及び周辺まちづくり 整備促進	都市計画高井戸公園 及び周辺まちづくり 整備促進	都市計画高井戸公園 及び周辺まちづくり 整備促進	都市計画高井戸公園 及び周辺まちづくり 整備促進	都市計画高井戸公園 及び周辺まちづくり 整備促進
	経費(百万円)	0	0	0	0

## 9 (仮称)荻外荘公園の整備 重点

国の史跡指定を受けた荻外荘の持つ歴史的・文化的価値を最大限活用し、住宅都市杉並の歴史を代表する良質な邸宅として後世に引き継いでいきます。そのため、復原・整備に向けて、策定する整備基本計画に基づく設計や豊島区内にある移築建物の解体保管工事などを進めるとともに、関連イベントの開催や寄附金の募集等の取組を行い機運醸成を図ります。また、大田黒公園や角川庭園など周辺施設との連携や回遊性に留意しつつ、多くの人が集い、交流する場となるよう公園の整備を進めます。

30年度末(見込)		31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	(仮称)荻外荘公園 整備基本計画 策定 移築建物解体・保管	荻外荘の復原・整備 設計 解体・遺構調査 移築建物保管	荻外荘の復原・整備 設計 遺構調査 移築建物保管	荻外荘の復原・整備 設計 移築建物保管	荻外荘の復原・整備 設計 解体・遺構調査 移築建物保管
	機運醸成の取組推進	機運醸成の取組推進	機運醸成の取組推進	機運醸成の取組推進	機運醸成の取組推進
経費(百万円)		47	36	49	132

## 10 柏の宮公園の整備

新規 重点

拡張用地内の既存樹林を活用するとともに、現公園との一体性や隣接する三井の森公園との連続性に配慮し、みどり豊かな魅力ある公園として整備します。また、災害時の避難広場を拡充するなど防災機能の向上を図ります。

30年度末(見込)		31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	公園の拡張設計	公園の拡張整備	公園の拡張開園	—	公園の拡張整備・開園
	経費(百万円)	186	0	0	186

## 11 身近な公園の整備

敷地が1ヘクタール未満の身近な公園を整備し、区民がみどりの中で憩い、ふれあうことができる水とみどりのネットワーク・拠点づくりを進めます。また、区民ニーズと時代の変化に対応した多世代が利用できる公園づくりを進めるため、都市公園・児童遊園・遊び場の配置状況から公園施設\*の機能を見直すとともに、公園遊具の長寿命化によって維持管理費の縮減を進めます。なお、乳幼児の遊びエリアについても機能の見直しのなかで、必要に応じて整備を進めます。

30年度末(見込)		31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	すくすくひろば整備 新規整備箇所 検討	—	—	—	
	(仮称)多世代が利用できる公園づくり 基本方針 策定	(仮称)多世代が利用できる公園づくり 推進	(仮称)多世代が利用できる公園づくり 推進	(仮称)多世代が利用できる公園づくり 推進	(仮称)多世代が利用できる公園づくり 推進
	公園遊具の長寿命化改修	公園遊具の長寿命化改修	公園遊具の長寿命化改修	公園遊具の長寿命化改修	公園遊具の長寿命化改修
	阿佐谷けやき公園の整備 設計	阿佐谷けやき公園の整備 設計・整備	阿佐谷けやき公園の整備 整備	阿佐谷けやき公園の整備 整備・開園	阿佐谷けやき公園の整備 設計・整備・開園
	(仮称)下高井戸四丁目公園の整備 整備・開園	—	—	—	
	(仮称)高円寺南三丁目公園の整備 整備・開園	—	—	—	
経費(百万円)		142	182	265	589

\* 公園施設…公園に付帯する遊具・ベンチや植栽、管理事務所など都市公園の効用を全うするための施設・設備等

**目標3 みどり豊かな環境にやさしいまち**

**施策  
9**

**持続可能な環境にやさしい住宅都市づくり**

**1 杉並産エネルギー<sup>※1</sup>の創出と省エネルギーの推進** 重点

震災救援所(区立小中学校等)に太陽光発電機器と蓄電池を組み合わせ設置し、災害時に必要な電力を継続的に供給します。

また、太陽光発電機器、家庭用燃料電池などの低炭素化推進機器<sup>※2</sup>や電気自動車用充電設備の設置助成のほか、高日射反射率塗料による屋根の塗装・窓の断熱改修への助成を行うとともに、電力使用量を減らしCO<sub>2</sub>排出量を抑制するなどの環境負荷軽減につながる多様な取組を進め、引き続き温暖化対策を推進します。

30年度末(見込)		31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	区立学校等への太陽光発電機器・蓄電池設置 1所 (累計35所)	区立学校等への太陽光発電機器・蓄電池設置 1所 (累計36所)	—	—	区立学校等への太陽光発電機器・蓄電池設置 1所 (累計36所)
	低炭素化推進機器等導入助成 500件 (累計5,400件)	低炭素化推進機器等導入助成 500件 (累計5,900件)	低炭素化推進機器等導入助成 500件 (累計6,400件)	低炭素化推進機器等導入助成 500件 (累計6,900件)	低炭素化推進機器等導入助成 1,500件 (累計6,900件)
	電気自動車用充電設備設置助成 7件	電気自動車用充電設備設置助成 7件	電気自動車用充電設備設置助成 7件	電気自動車用充電設備設置助成 7件	電気自動車用充電設備設置助成 21件
	区庁舎の照明設備のLED化改修工事	区庁舎の照明設備のLED化改修工事	区庁舎の照明設備のLED化改修工事	区庁舎の照明設備のLED化改修工事	区庁舎の照明設備のLED化改修工事
経費(百万円)		50	161	76	287

※1 杉並産エネルギー…再生可能エネルギー、自家発電、蓄電池や電気自動車などを組み合わせ、災害時にも安心して使用できるよう区内でつくりだされるエネルギー

※2 低炭素化推進機器…太陽光発電機器等の太陽エネルギー利用機器や、蓄電池・家庭用燃料電池等の省エネルギー機器など、二酸化炭素排出量を抑制(低炭素化)することができ、地球温暖化対策に効果のある機器

**2 魅力ある快適な生活環境の確保**

環境に関する地域の課題を共有し、区民一人ひとりの生活環境の改善に向けた意識の向上を図るとともに、区民、事業所、環境NPO等の自主的・自発的な環境美化活動を引き続き支援します。

また、適切に管理されていない空地等の所有者に対して指導・助言等を行うなど、安心して快適に暮らせる生活環境を維持する取組を進めます。

30年度末(見込)		31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	環境美化活動の推進	環境美化活動の推進	環境美化活動の推進	環境美化活動の推進	環境美化活動の推進
	管理不適正な空地等の所有者への指導・助言	管理不適正な空地等の所有者への指導・助言	管理不適正な空地等の所有者への指導・助言	管理不適正な空地等の所有者への指導・助言	管理不適正な空地等の所有者への指導・助言
	地域との連携による路上喫煙マナー啓発活動実施	地域との連携による路上喫煙マナー啓発活動実施	地域との連携による路上喫煙マナー啓発活動実施	地域との連携による路上喫煙マナー啓発活動実施	地域との連携による路上喫煙マナー啓発活動実施
経費(百万円)		0	0	0	0

### 3 環境学習の推進

環境学習の成果を発表し合う「杉並区小中学生環境サミット」への参加に向けた支援をはじめ、区立小中学校が取り組む様々な環境学習を個別に支援するとともに、区民向けにはクリーンエネルギー<sup>※1</sup>普及の重要性を啓発するため、燃料電池自動車<sup>※2</sup>を活用した環境学習を実施します。また、自然環境調査や河川生物調査を実施し、どの地点にどのような動植物が生息しているのかを把握するとともに、生物多様性<sup>※3</sup>を確保するための指針となるよう、調査結果をわかりやすく公表します。

30年度末(見込)		31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	環境学習個別学校支援 33校 小中学生環境サミットに向けた支援等	環境学習個別学校支援 34校 小中学生環境サミットに向けた支援等	環境学習個別学校支援 36校 小中学生環境サミットに向けた支援等	環境学習個別学校支援 38校 小中学生環境サミットに向けた支援等	環境学習個別学校支援 延べ108校 小中学生環境サミットに向けた支援等
	燃料電池自動車を活用した環境学習実施	燃料電池自動車を活用した環境学習実施	燃料電池自動車を活用した環境学習実施	燃料電池自動車を活用した環境学習実施	燃料電池自動車を活用した環境学習実施
	自然環境調査実施	自然環境調査公表 —	— 河川生物調査実施・公表	— —	自然環境調査公表 河川生物調査実施・公表
経費(百万円)		14	12	4	30

※1 クリーンエネルギー…環境に対する汚染物質である窒素酸化物などや地球温暖化の原因物質の一つといわれる二酸化炭素を排出しない、又は排出量が少ないエネルギー源

※2 燃料電池自動車…水素と酸素の化学反応によって発電した電気を使って走る自動車のこと。走行時に二酸化炭素や排気ガスを排出せず、環境への負荷が少ないという特徴がある

※3 生物多様性…生きものたちの豊かな個性とつながりのこと。生物多様性条約では、生態系の多様性・種の多様性・遺伝子の多様性という3つのレベルで多様性があるとしている



燃料電池自動車を活用した環境学習の様子



**目標3 みどり豊かな環境にやさしいまち**

**施策10 ごみの減量と資源化の推進**

**1 ごみの減量運動の推進** 重点

生ごみの減量に向けた食品ロス<sup>\*1</sup>削減の取組を強化する等、区民、事業者、関係団体及び区が一体となり、ごみの減量運動を推進していきます。

30年度末(見込)		31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	一般廃棄物処理基本計画 改定・推進	一般廃棄物処理基本計画 推進	一般廃棄物処理基本計画 推進	一般廃棄物処理基本計画 推進	一般廃棄物処理基本計画 推進
	ごみ減量に向けた普及啓発の取組推進 食品ロス削減の推進 フードドライブ <sup>**2</sup> の常設受付窓口 設置	ごみ減量に向けた普及啓発の取組推進 食品ロス削減の推進 フードドライブの 常設受付窓口 拡大	ごみ減量に向けた普及啓発の取組推進 食品ロス削減の推進 フードドライブの 常設受付窓口 運営	ごみ減量に向けた普及啓発の取組推進 食品ロス削減の推進 フードドライブの 常設受付窓口 運営	ごみ減量に向けた普及啓発の取組推進 食品ロス削減の推進 フードドライブの 常設受付窓口 拡大・運営
	生ごみ処理機助成 100件	生ごみ処理機助成 100件	生ごみ処理機助成 100件	生ごみ処理機助成 100件	生ごみ処理機助成 300件
経費(百万円)		3	3	3	9

\*1 食品ロス…まだ食べられるのに捨てられてしまう食品

\*2 フードドライブ…家庭で使いきれない食品を持ち寄り、広く地域の福祉団体や施設等に寄附する活動

**2 資源化の推進** 重点

区民の自主的な集団回収活動を支援し、より良質な資源を安定的に回収していきます。

また、ごみの減量、資源の有効活用を推進するため、小型家電・粗大ごみ・不燃ごみの資源化を着実に進めるとともに、新たな資源分別回収品目の調査・検討を進めます。

30年度末(見込)		31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	集団回収の推進 新規等集団回収実施 団体数 18団体 集団回収量 年6,670 t	集団回収の推進 新規等集団回収実施 団体数 18団体 集団回収量 年6,670 t	集団回収の推進 新規等集団回収実施 団体数 18団体 集団回収量 年6,670 t	集団回収の推進 新規等集団回収実施 団体数 18団体 集団回収量 年6,670 t	集団回収の推進 新規等集団回収実施 団体数 54団体 集団回収量 20,010 t
	小型家電回収量 年12,000kg	小型家電回収量 年12,000kg	小型家電回収量 年12,000kg	小型家電回収量 年12,000kg	小型家電回収量 36,000kg
	粗大・不燃ごみ資源 化量 年1,560 t	粗大・不燃ごみ資源 化量 年1,560 t	粗大・不燃ごみ資源 化量 年1,560 t	粗大・不燃ごみ資源 化量 年1,560 t	粗大・不燃ごみ資源 化量 4,680 t
	資源分別回収品目拡大 調査・検討	資源分別回収品目拡大 調査・検討	資源分別回収品目拡大 調査・検討	資源分別回収品目拡大 資源化実施	資源分別回収品目拡大 調査・検討・資源化 実施
経費(百万円)		177	178	178	533

### 3 ごみの排出マナーの向上と環境美化の促進

カラスによる集積所への被害を防止するため、カラスネットや折り畳み式防鳥ボックスの配布を継続します。また、ごみ・資源の排出ルールについて日本人にも外国人にもわかりやすいよう周知・啓発を行うとともに、集積所などへの不法投棄の防止に向けた対策や事業者への事業系有料ごみ処理券の貼付指導を強化し、ごみの排出マナーの向上と環境美化を促進します。

	30年度末(見込)	31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	ごみの排出ルールに関する周知・啓発	ごみの排出ルールに関する周知・啓発	ごみの排出ルールに関する周知・啓発	ごみの排出ルールに関する周知・啓発	ごみの排出ルールに関する周知・啓発
	ごみの排出指導	ごみの排出指導	ごみの排出指導	ごみの排出指導	ごみの排出指導
	不法投棄の防止対策	不法投棄の防止対策	不法投棄の防止対策	不法投棄の防止対策	不法投棄の防止対策
	集積所の環境美化 カラス対策の実施 折り畳み式防鳥ボックスの配布 1,200基 カラスネットの配布 1,200枚	集積所の環境美化 カラス対策の実施 折り畳み式防鳥ボックスの配布 1,200基 カラスネットの配布 1,200枚	集積所の環境美化 カラス対策の実施 折り畳み式防鳥ボックスの配布 1,200基 カラスネットの配布 1,200枚	集積所の環境美化 カラス対策の実施 折り畳み式防鳥ボックスの配布 1,200基 カラスネットの配布 1,200枚	集積所の環境美化 カラス対策の実施 折り畳み式防鳥ボックスの配布 3,600基 カラスネットの配布 3,600枚
経費(百万円)		28	28	28	84



職員によるごみ排出調査・指導の様子